調我與之ま止と農民りチ粉見除界り業殊り着基に

縣背後地の

般農産物發育良好

「本天國通」 35年では四月二十八日 ・ 10年では四月二十八日 ・ 10年では四月二十八日 ・ 10年では四月二十八日 ・ 10年では四月二十八日 ・ 10年では四月二十八日 ・ 10年では四月二十八日

六十八萬圓餘となります。 土来で居りませぬが大略二億 八千五、六百萬圓では無いか と思ひます

今日より、蔣洲國政府は新會 計年度即ち康德元年度に這入 りました、本年度の豫算は今 でありましたが中途密制の實 でありましたが中途密制の實

本年度の總豫算は先に申上入千八百七十二萬圓餘でありまして之を前年度總豫算に比較致しますると四千萬圓に近申述べます如く極めて健全なの意識なる消襲を表はする膨脹であります。これは滿ちのでありまして御同様慶費

開赤字公債は全然無いのであ 先づ銭入の方面に就て見ま

總務廳

主計處長 松

現在及び將來に就 產業 で利用して食鹽工業鹽井事業に就ては天惠の豐富

彼女の様子の使ってゐるのは、全

行くめえじやねえか。おいら、夢の

朝日通八十一(普通學校前)× 端家政婦を求む

しないと思った。

松本出 とぶ組音か 本権大豆のドイッへの輸出 北流大豆のドイッへの輸出 北流大豆のドイッへの輸出

要なるもの行かりでありまずも関防並関民経済上極めて電も関防が関民経済上極めて電のであつて何れまなるものであつて何れまなるものであつて何れる。

谷松十 暋本河 二 ルピ ン鐡路局

二百十九)

れえ、どうも、金を買ふのは有職れた、どうも、金を買ふのは一一覧いた

看護 整

場二名急募希望

すがり

これが、 妹の手切金だ

小倉小見科勝院 第二十二日 昭将呼輸の有無を 第二十二日 昭将呼輸の有無を 新京梅ヶ枝町三丁目一〇 新京梅ヶ枝町三丁目一〇

明るい

サ

ヴ

氣分と

E ST

定川

芬三 四四)

开生命保險株式會於新 町四ノ四三井物

友

雄

吉

(金)日六月七

發行所

小日日新聞社

m 25 fr

金田 田田

fr A A

の結果元倉頭に常って、合計委員には、

を

午後五時三十分が

電新來 例 亞 · · ·

移轉することに内定した を轉することに内定した を動脈たる國鐵を統制するハルビン鐵路局では事務所狭隘のため鉱屋物色中であつたが比 を対象屋物色中であったが比 を対象を統制するハル

北満大豆 0 アラ出の東温線温

お潤で、まだ性根

かと思つて、やつて來たんだよ

らせめて、五百風ほど借りて質は

新人女給

地よ

數名來店!!

ら、おめえに頼んでは家さんか

うな、あたしで

紙幣を算えてみて、

?」と勝代の職を

下宿 雜 語語

獨逸人技師六名 實地調査を終へ實業同批率體事務が明月滞

りと考へた上で、あれ

のたし、今夜みつち

所で 3 巻 「本天國通」昭和製鋼所に於 いては目下獨逸語會社より新 式機械を購入して能率增進に 努めつゝあるが、右機械頬組 立のため左記の獨逸人諸氏が 立のため左記の獨逸人諸氏が

できない、 できない、 できない、 できない、 できない、 できない。

此まし覧って行っては

土地家屋

ていらつしゃいな。三百歳では、

「さら。それぢや、それだけ持つ

といつた標子で、どうで

會 吉斯町吉野紹內新京支部 東三口 派遣大連速即研究

新京に設置す

聯合會を

全満合作社の指導統制機關

電計委員の選挙は四日午後三 新瀬員に依る今期正副會頃及 新瀬員に依る今期正副會頃及

今期正副會頭

【東京國通】六月中の錦菜牛 を更新し、七月以降の操短率 は五分緩和され、十月以後は 更に三分八厘となる故に各社 の骨收は急激に進み綿糸生素 の骨収は急激に進み綿糸生素

來たら、まるきり人の肖ととので、近頃のチチハル

八の消えたやう

しゃうと云ふんだ。流洲へは

して臭れちゃあ、お母あが、ど

また短級なことでも

タイプライター 印書 新京日之出町一ヶ十六 新京日之出町一ヶ十六 新京日之出町一ヶ十六

新發屯安達街に

營

業

御待象の

支店!!

9 9 9 9

は、やはり此ましい家さ

大經路十五八島通南端 長 野 商 會 電話三四九八番

開業いたしました

友

原風溢るる

新市街…

是非御寄りを

、機に闘を埋め いふ人を、きらいといふ間ちやね んのお世話になって、行く

のこと、との歌も 明地かに、 終代は、うつかり 不颜にうしろから突き飛ばされた 時のやうな際き うな驚きを感じた。彼女は んには、そんな気に見え ギしたのである。 して居る處を

らわのこと

刷印 一友社

第至念御何ひ到し 既設電話月賦販賣電話 賣 買 金融 電話 賣 買 金融

監督野

畫 風

ざいます。一個申込は小荷物扱所へ社内二四五番)にされ

(通濟運輸公司)

あんま

御旅行者及一般の御便宜を計る為左配取扱を致しますから御利用願ひます
一、新京驛發送手荷物。小荷物の蒐集一、新京驛發送手荷物。小荷物の蒐集
一、同到着驛留小荷物代理引取及配達
右一切迅速確實に取扱ひ致しますから御用の節は電話か
素書にて左配に申込み下さい

中央通十一番地

版華豪の田藩る誇てけかに名の統傳く輝 スン ラシン サ 。ムルイフ 。オネ式新最

星

** 座

屯發新街達安●番八七八四電 復讐を誓へる慎介の手に川瀬の邸宅が手に入つた、邸を追れ病める川瀬は、そして勝気の英子は、奇しき運命の悪戯は如何なるエンドの幕をおめてか?、オール、シンキョウの老も若きも、慟哭、熟狂せしかの老も若きも、慟哭、歌狂せしかの。 外蒲田オール、スターキャス 旅游雪子、飯田蝶子、藤野秀夫 筑波雪子、飯田蝶子、藤野秀夫 町 護 二、 江川字禮雄 田中 絹代、 川崎 弘子 田中 絹代、 川崎 弘子 掘江清子、小林重四郎 版東 好太郎 主版東 好太郎 主

7

ハケニン錠

仓座 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一

希望者ハ自筆履歴書持参り 女店員採用

新京 金 泰 洋 人來談 行

課 目

新京電話工業株式會 產 地 商 式會社 腰大

五日頭五日間殿 京新が我倒壓を界審映本日ち忽やるれざ映上籌上地籌前 姉兄諸ソアフに重一れこたしまけ續を員滿日連もて於に すまりおてし謝感く深とのもるよに撥後御るな大鍋の し致ひ願お程の撥支御るす倍に薦前もに篇結完籌後の此 すま 雨 作業服其他 •

急告

專門店 熊本屋 **美**班三四三五等

ニング 0

ーニング 御下命下さ

0

ドライクリー 責任ある専門店へ御用は安心の出來る

豐富に取揃へあります 尙多少に不拘 粗品進星

會 站屯

電話三八七八番

だ、 跳しい

そのお金も、

された、これが實現せは政民兩黨の岡田内閣に對する態度をより以上明白に態度を協議する必要ありとの聲高まり政民兩幹事長の會見をみる空氣が釀成部では政民の政策協定も進行中であるから、この際岡田内閣に對する全般的の説が政友會はもとより民政黨四部にも漸次擡頭しつゝあり、殊に政友會內(東京國通) 岡田首相の黨に對する入閣交渉態度は政黨を輕視するものだと 民政黨も不満の色

政友會から 詰問的に態度を訊す

のと

(東京國通)人閣交渉の結果 によつて政友會では新内閣のによつて政友會では新内閣のによつて政友會では新内閣の中心なることが判明し政黨軽視の態度がみえるので組閣の中心たる官僚は政黨に對し挑職の底に至り本日組閣者側に對して、宋大、紹月氏以外の人物 た。 農林へ適すといふ理由は如 一、熊木、適信以外の椅子を 興之ぬか 農林へ適すといふ理由は如

| することゝなつた | 等属意をたせした後態度を決 | 等属意をたせした後態度を決 |

民政も反對 次氏の入閣再考を促したるに 東京國通】後藤、床末兩氏

床次氏は依然前日來

田育州の懇請とは相違する事類の品である様な場合は常初の品別がより援助あり度いとの由別である様な場合は常初の品である様な場合は常初の品がある。 岡申謂精 か の入閣を拒絶したので、結局の主張を繰り返へして、自己

を注視し、種々の場合を想像 を注視し、種々の場合を想像 を注視し、種々の場合を想像

へ開援助

き考慮してゐる、民政黨はて黨として採るべき態度に

安求に應じ入閣せしめるものへ變更せねば黨としてはそのに変更せれば黨としてはそのという。

一友の態度で

純然たる超然内閣か

田首相の決意固

農

堀切善次郎 望月 圭介

圭

も亦多少の興味なしとし の出現をみるに至つたが の出現をみるに至つたが

(東京四

國通至急報)九州帝大總長松浦鎭次郎氏は文部大

松浦九大總長に決定

は

文

松浦鎮次郎

直

(留定)

中に政友會との入閣交渉が片

【東京関通】岡田首相は今日

ま介氏を訪問、農林大臣とし 日午前零時原宿の私邸に望月 【東京國通】後藤文夫氏は六 望月氏再度拒絕 で入閣を重否した 望月氏は飽く迄初志を主遇 があるを主題

哩

P

(東京國通 藤井新蔵相は大体に於て、京高橋財政を踏襲するものであるが、高橋財政を踏襲するものであるが、

ち進展を見るものと推測される、尚五日朝中島男と共に召 ・ 同等が組織してあた番町會の 一人で宜要なる役割を努めて 一人で宜要なる役割を努めて

断行の筈で大官後任は川越津(東京國通)大廠省の異動は

7

【東京國通】望月氏の緑意絶 物の健組閣する事となりその 場合に民政黨より関係をとる 事は無意味となる故芸視練裁 へも前言を取消し純然たる超 然内閣を組織するものと觀ら れ組閣事務は政友會との關係

政黨外からさるは

閣書記官

長

河

烈 (新年)

床次竹二郎

三日に至るまで、現内閣を加 が布かれてより、今日迄約五 十年、その間長きは日蘇戰争 常時の桂内閣の四年七ヶ月よ り短きは第三大桂内閣の五十

別内不統一のため辭めたるも 野蛇死をしたものもあり或は 野蛇死をしたものもあり或は

込まれてゐるのを設見するで ががな道を辿つて今日に至っ たわが憲政史を回顧して見る たわが憲政史を回顧して見る にとは、わが憲政が如何なる であるかを學ぶと同時に、 はのなるかを學ぶと同時に、

臣に决定急遽東上の途についた

政黨を輕視せんとするもの

政友長老總務會意嚮决定

大藏疑獄より商工疑獄へ

政局安定を待つて新

のは明治十八年で、最初の内 は伊藤博文である、常時は所 は伊藤博文である、常時は所 にいづれかの出身者に限られて 居り、数権は藤長の間にたら

その日く

観られ注目されてある

一兩日中に

島南氏で川越氏は從來の関係 上から、準島氏は藤井氏の理 射者で、理財又は銀行局長へ の後任は荒井、青木雨氏の理 任を職る複様である

(長州)の大は黒田内閣(護州) 大が松方内閣(護州)大が伊 藤(長州)大が松方(鑑州)大が伊 藤(長州)大が松方(鑑州)

内、戦雨相を値から取るのは 政友ふくれる

て超然内閣を組織であつる背

大藏首腦部異動

八事件益す進展

藏兩相を

再考の余地なし内務の椅子 政友會の長老會議の結果は

組閣の根本方針である

就任は

後藤、床次

會見物別れ

小原直氏の

東京控訴院長小原直氏は新潟をおき新法相の榮冠を願ち得た。四年の東京國通」和仁大審院長やするを表し、日本の東京國通」和仁大審院長やする。

を重大なる政策なり

ントン拍子 0

議會の解散を覺

内相の椅子は政黨へ

出首相態

度强硬

時に鈴木總裁より

6簡単には容認と対象の入閣を

のあり、政は陰間のもののあり、政は陰間のもののあり、政は陰器のものがあり、政は陰器のものがあり、政は陰間のものがあり、政は陰間のものがあり、政は陰間のものがあり、政は陰間のものがあり、政は陰間のものがあり、

は六日會見する積りだ、政か未だ分らぬ、認月君とあった際はどちらからも別につた際はどちらからも別にった際はどちらからも別に

無いかと云ふのか、それは無いかと云ふのか、それは致し方ない、政黨と絶縁しない、併し有力なる政黨との絶縁は考へ度くない、内の絶縁は考へ度くない、

大関交渉を進 入開交渉を進 大関交渉を進

度い考へであるとは

(組閣本部を引揚げる)

に入つた岡田新首相 開本部を引揚げ萬 四十一時

致し方ない、政黨と絕緣し無いかと云ふのか、それは無いかと云ふのか、それは

政業関係の入り、なるか、最は出来ない、砂友質は既定の根本方針に依つては既定の根本方針に依つて

ら變更は出来ない、数方が組織の根本方針である

内務次官後任

吉田、

兩氏有力

尚田首相組閣方針を語

になり、その信義を失するは 一致の質を失ふ變態内閣を壊 したがよいとの議が强い トン拍子で今年五十八才であ 司法状官から控訴院長とトン 司法状官から控訴院長とトン る 國通」初度大臣中小原

(東京國通) 岡田新内閣は政 村が斯の如く 張硬態度を堅持 村が斯の如く 張硬態度を堅持 村が斯の如く 張硬態度を堅持 であ所以は新内閣は齋藤内閣 が東京國通) 岡田新内閣は政

六日午後三時現在 お吹るべき第六十七議會は解 の希望あるも断然担否する事に決定し、且つその他の椅子に如何に政友會がら交渉があつても既定方針

は留任と決定し

患崎法制局長官

長官留任

局 3

殺命

(コード東部) 目のでは、 100 では、 100 では 相を除いて合計二十人 本郎の三回をはじめ、 本郎の三回をはじめ、

眞

信(新任) 郎 (密任)

文夫(特定)

へて丁度三十 計二十人である 即文の四回、柱 即次の四回、柱 の本の四回、柱 伊

文

は、ハルビン関通)鼻にソ聯と お託して反痛抗日鐵道爆破を 北痛に潜入日滿官憲に捕へら 北流に潜入日滿官憲に捕へら 北流に潜入日滿官憲に捕へら がは、 なの大赦にあひ釋放され、その

と部内の誰しもが 本 日中

腹胸の捌つてゐること、非凡 腺の働き盛り、瞬のよい事と 脈高田市の産で、営年五十八

た行政的手腕を有してゐる酷

石にえらいと が服してゐる

以黨 三 絶縁も

やむを得な

か、何れにするも今日中によみと絶縁して超然内閣で進む 同工作の終了を遂げるもの何れにするも今日中には で織いてゐる 2

かるみぞ

後任として吉田茂氏では香坂京都府知事が有力観されて居 開館 雲南日本領事館

部、事務を開始した のでは、 のでは、

B兒

天然シロ

"

プを御進め致します

其の他御進物用品澤山取揃へて

食料品雑貨大勉强の

店

明治製菓グリ

酒月

冠

特約店

新京落茶町一ノー九

迅

御中元の御贈答に

延吉縣共產黨員 ブスミ餓

で、古と四三の権力を

各地市場

苦しむ

▲ 青木重臣氏 《關東廳警務課長》六日午前九時銀大連 《 長》六日午前九時銀大連 《 長》六日午前八時半銀哈市

新設電話(譲り受けたし

御申越しを乞

新京曙町四丁

目

▲專門學校以上卒業生滿錢入 ★專門學校以上卒業生滿錢入 十五分齡京同日午後九時四 十五分齡京見太本市二十一名六日午後 市へ 中一名八日午後一時茲南行 七時來京扶桑旅館投宿 七時來京扶桑旅館投宿 七時來京扶桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 七時來京持桑旅館投宿 十一名八日午前 大日午後一時茲南行 一名八日午前 大日午後一時茲南行 一名八日午前 大日午後一時至十一名八日午前 大日午後十時發南行 一名八日午前 大日午前 大日午前八時三 十一名八日午前 大日午前 大日午前

益益

工藝所新京營業部

儀

平

株 三十日の分の 三十日のの 三十日の 一日の 三十日の 一日の 三十日の 三十日

1040

再び何等かの陰謀を企鵬しつ ではソ聯と連絡のあつた犯人 だけに躍起となつて搜索を開 給しだ

雲仙有明ホテル

> 診療 科目

【長崎國涌】先年新纂の雪仙 会関有明ホテルは六日午前零 時半出火、三時間燃え銀げて 時半出火、三時間燃え銀げて り、大人其他避暑客

新京市况

入院

新京永樂町三丁 電話四六 04

随意

組閣工作終了 1-は せ

久しきに亘つてゴテついてる た新京聯合婦入會、赤木夫人

凉灘の

ロラ

お前の伊藤、黒田の二内閣は 一年際四閣までは、取り立てて 一年の四郎である第二次 一年の日本では、取り立てて 一次の日である第二次 も變らず斷水縛き、共になん北藤水害の報頻々、新京は相 **蔵疑獄から、商工疑獄へどこ**

とかならぬものかしら

人事往來

清戦争後の松方第二大内閣で

五日午後四時三十分競大連古川法務官(観東軍法務部)

無本。 現物 做 114.10 一种本。 114.10 大連 上海向 大理 上海向 大型 2.25 大型 2.25

大森醫

以下七片五日午後七時三十分階大連から 長)同上海域から 長)同上海域から 長)同上海域から 大和山中佐(関東軍司令部第 四課長)六日午前六時三十 分發吉林へ 本秋山中佐(関東軍司令部第 四課長)六日午前六時三十

政治犯宮邦傑

再び陰謀

器陶用築建

商 中

THHHHH

便器類 切 内外部用 酪タイル 洗面器费 HHHHHH

冷そうめん 名代の手打 前迅 速

大和通二 ちや やつぶりん

花柳病科、肛門病科外 科、產婦人科 都 殿四

目 0

電話 三八三四番 へ 橋通七 御用 29 11

所御布望の方は左記へ午前中面談が御布望の方は左記へ午前中面談

協和俱樂部內

會合 社資 行

遺張するため六月上旬滿洲國 満電では薪京市内の交通網を

望してゐる 望してゐる

光氏及ひ指導者與安總署酒井 光氏及ひ指導者與安總署酒井

更に大和通り

廿五ト の氷消費量

一貫以以上の配達をしてゐるが、昨今の降りみ降らずみのが、昨今の降りみ降らずみの相雨空に二十五トン内外の賣に十五六トンから四十トンまでの需要があるものと豫想され、一日の製造能力をあげて

一泊京都二泊、所々見學の上で奉天經由、京城二泊、下關れ八日午後四時三十分發列車

日まで催される築地會設に列 七時三十分歸京の豫定東京見物、十八日から二十一 異など見學の上八月一日午後東京到衛十六、七兩日 席、歸遊高野山、廣島、宮島、

國教

廳舍

第一期工事九月末完成の豫定

東部線貨物列車

福軍航召除水上飛行

に立寄らず 往航には吉林

で能登呂機と合体、七日を準機は六日佐世保護、同日雄基機は六日佐世保護、同日雄基のは、水上機母艦能登呂の水上

新設

花

島

電話三八五八番新京室町二丁目公學堂前

日

特殊會社設立か

0

D

合辨の

近く日滿各機關で協議する筈

その結果は期待

(E)

年大會出席の

坂各婦人、闕防婦人會永田女院本、輻田、青木、濱田、岩木、福田、青木、濱田、岩

連日の雨で

送水管工事字

元成し

拉林河氾濫

滿洲代表

の具体的方針について打合せ城内分會長の諸氏出席、合同史、大西寛城子分會長、井下

會社の出現によって市内の交 通網が統一されるなれます。 またが、著し特殊 意見の交換を行ふこと」

會出席の滿洲國代表者三十一第二回汎太平洋佛教青年會大

長武藤夫人の回答をまつて決

をとげたなほ合同は大日本聯

北浦一帶に降り續いた數目前 を來たし北鐵南部拉林河が氾 を來たし北鐵南部拉林河が氾 上北鐵ではこれがため何時でも 北銀ではこれがため何時でも

その間市

沟全般に

一時斷水

皆さ

は驚か

ぬやう

航には潜水せ

一夏掃物

賣

交通部第五科長北堀誠氏は語 |便利||る、右につい

國都の交通 恐れがあり寒心に耐へない もこれ等不正品の販賣は蒲鐵實があるので滿鐵當局として

太平橋のペ

あるが同部衛生司は今迄の報 の 生したベストに就いて民政部 中生したベストに就いて民政部 中生したベストに就いて民政部 中生したベストに就いて民政部 中生 は 一本 野師を派遣、目下調査中では

よりさだめしファンを心ゆく

一等(白券)二鷹五十錢二等

費組合西廣路▲其他

日七月 ||迂廻||して興安大路を 至る線)の新設二路線パ

七

大同線(滿電本社前發

極め、工場から祝ら鮮銀橋の一氷所は需用期に入り大繁忙を一氷所は需用期に入り大繁忙を一

て場から祝ら鮮銀橋の

不足の分は貯蔵氷で補いこと へなつてゐると

で間断なく送り出し、

父發狂の三幼兒に

愍よ大同

團結

(は去る州日施) 第一期工費百点 数の期工費百点 工事開始の選手 工事開始の選手 工事開始の選手

ふ手打ちの大評定

國防兩婦人會

くも同情金

本社の記事を見て

締りをやる 一部の経無を期 を督勵して不良品の経無を期

に報、非常時國防の銃後の護

一、辨當その他販賣品の内容を常に檢査すること

定をみる筈である、右につき 意兵殿では語る 合同は昨今の時局からみて 當然のことであらう、憲兵 際としては民衆の際に從つ て大同團結促進を影ながら であらう、憲兵

入往診療 時 時

東五階種の堂 共五階種の堂 共五階種の堂

工費二百五十

に機關車一、貨車五配線順覆 に機關車一、貨車五配線順覆 でレールの犬釘を抜き取られ で居たムめ轟然たる音響と共 で居たムめ轟然たる音響と共

潔を保持すること 食品の消毒その他

鞭客も不便であり、といつてが城内を經營する事となれば 心意見が擡頭し高次この説が 満合辨の特殊會社によって市 洲國交通部の各關係者が集合 の交通網を統一してはとい 刀化してきたので本月十五 で當菜者が結局馬鹿をなれば乗客の奪ひあひ これなる関係上、最近と なる関係上、最近 一路線の運轉を許す便であり、といつて

催、荒木地方事務所長室で開 二回實行委員會は七日午後一御大典記念經增築に關する第 記念館増築の 實行委員會

公主嶺見學團

より

/八日出發

應募者二百四十名に上る

河川氾濫

ルピン、チ、ハルか

ひその結果は良好で 助替工事に着手すべき 助、今日に延期された ある、切替工事は良好で

類されたもので に用水が濁つたゝ

部新タンクに上ることになる水されてゐたのが、一旦は全 ので、今後給水脈力が加はり

北滿各河川增水

各地に浸水

低地同様に給

河も増水しつゝあり、之が爲城江も一日に十糎又アルダン線江も一日に十糎又アルダン

三日

間

於演藝館言語

||結果||は從來水源地か

勝がい早お

▼尺三上等タ

一圓五〇錢

圓五〇錢

▼眞 岡 浴

衣

一圓五〇錢

仕品

正札よ

4)

半 額

品豐

御婦

人 向

衣裳格安品數点!!

▼眞岡浴衣仕立上リ

價

品品

ク、チタ間にあるセレン河及によればシベリアのイルクッによればシベリアのイルクッによればシベリアのイルクッでよればシベリア経になればシベリア経にない。 一切 第一支 障

ッ談經

十六日から再び魅力試験を行いて、修理のうへ去る二十六日から再び魅力試験を行ったが旣職

給水タンク

競定で、その 類官含その く市内一般に とゝもに、似

の他出席し、前回に引續き協 道關係代表、銀行團代表、そ 養員代表、居留民會代表、鎌 二百四十名の多数になつてる 本八日決行される、應募者は あるものであらう よ八日決行される、應募者は あるものであらう は見趣軍隊慰問旅行はいよい 日の靜養をむさぼるのも効果 あるものであらう

客はこれがため健康を害すると検査して常に注意を怠らずやつてゐるにも拘らず、最近構内營業人が辨常の不良品を構内營業人が辨常の不良品を は構内營業財賣品の內容品質をモットーにしてゐる滿鐵で トーにしてゐる滿鐵の 關屋敏子孃獨唱會

旋風的前景氣

その日を待ち焦れるファン

あすから前賣券發賣

見得すべく我社招聘來る十四 く滿洲首都新京ファンに御目 く滿洲首都新京ファンに御目 五、土曜日曜

の筈で、 で七日より一齊に鼓竇開始 で七日より一齊に鼓竇開始

各科に助

の第一着毛

の各一名づ

が参加し、匪團を指揮し又匪のソ聯へ及び朝鮮人共産黨員のソ聯へ及び朝鮮人共産黨員

機關銃其他精巧な匪塵を指揮し又匪

客んで

度内に質理

貨店酱香器部日本橋▲滿鐵消 望▲カフエートリオ▲新京百通り▲久氷洋行永樂町▲好音

關樂器店吉野町▲森洋行中洋行同▲赤木洋行三笠町▲ ▲企家洋行日本橋通り▲平本 い關局數子獨唱會消賣券發賣 |特典||あり、前賣券

各科の醫員

近く定員増加

唯一のカフェー新京。五馬路戴も隨分殖え、

ら城内にまで及ぶ▲最近

4

元贈答品

元が

太賣

出

日より十五日まで

W

金丁

屋

新京醫院の新陣容

新兵器所持

の匪團

とばかりと…バナナにすがりついてネーさんがけのミーさんが

店

割

马

10

ソ側から提供か

券に限り各一枚二十銭割引の(青券)一圓八十銭の處前資

ルから三ターブのジ、

真性ら

する第一回の集合が行は、流くこれに 交通事業は普通から 空氣なら必ずこの計 つて新京市内の 統一してはと、

(日) 曜

嚴重にする

鐵各驛の

土)

弁當の檢査を

近く防疫班を派遣 備を進めてるる。向同とされるので防疫班別 告が大体質性のものら

故內藤湖南博 満洲國要人が 12

表月二十六日逝去した日本帝國學士院會員交恩博士湖南內職學士院會員交恩博士湖南內縣虎衣郎氏が漏洲文化建設上の功績多かりしを憶び郷總理の功績多かりしを憶び郷總理を展示、羅振玉、城式毅、袁金智、配治、王季烈、許汝英、

中を捕はる

新京高等女學校講堂で追悼會 | 百圓を新京に密途し富士町三諸氏が委員となり來る九日、 | は阿片煙土二貫六百匁時慣入榮厚、西山政緒、水野梅曉の | ポプケミラ居住朝鮮人申泰纂

全市民の興味ある満洲土産物 二日間説町太子堂で午前九時 一日間記町太子堂で午前九時 阿片密賣計畫

忌明に際し、 寄附

案内状が設せられた 滿洲土產展覽會 こと」なり日前各界に 七、八兩日 ころ新京場金刑事に設見逮捕 物色してゐるを五日午後三時 布哇觀光團一行

太子堂で 間正師を中心に 転載の如く布味 のから有味 會を開催する中 長春寺先住福田

園を

地大洋社企票 現大洋對鈔票 11位第

ヤツ三枚を領取された四十一世界である。日午後等時ごろ自宅で赤田午後等時ごろ自宅で赤田田でののである。

ルサム時價五十圓

をソ聯國境方面に潰走せ

匪團を潰走

百の匪歯と遭過微酸の後これ音本部脈の津山〇縁は七月一音本部脈の津山〇縁は七月一

て日本軍兵一名經傷を負ふ潰走せしめた此の戦闘に於

洲訪問飛行海軍機の滿

景 満電の中元マ 品

後排御買上二十圓毎に 抽籤券進星現金御買上 三圓毎に 抽籤券進星

22562093 電









































一可能常京新 宝

天奉

出

店理代京新

張 DT D

等賞金は誰に

は岡田啓介氏に决定

津田〇隊

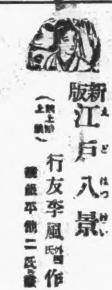
方内藤成茂氏は四日午後七

抗調する皆で

ボ1り ス

パツ ク、袋も

か努め特價品!! 物豊富に取揃て 外豊富に取揃て



江戶役者 行友李風

ちのことが不思いでならないから

の基となる移轉療薬開店凶ニ黒の人 榮華は身を滅す

れ人に珍重せらる

山中の部方へっどう

ちつと見たしたのは、呼あらく、

特長多少に不拘乞御用命迅速、低廉、製作は常設の

敷新三二六五番

京

京

分

0

嬉 三丁

新

京

 \equiv

嬉哟

(道线北)

廠

一方の切技も困難

虚無行だの、大吉だのつて、

ぬツと属手をのばして、節れた中 が、あつしのいに続をしなさる んでの帰る出ない かへると、親

號スセクサ

號トツネンケ

発生サトツネンケ

●九紫の人 気分壯快にして 萬事すらすらと源ばる A 日

で、繊無情点なにも出て来やしな

さんが解手にひつくりかへつたん

た山中平九郎の総に、口をおさへ

節がやない。

A印度 農寄 ※印二三等船客設備航 が印一二三等船客設備航 E 爱 郷念記トイナ

車輪三トーナ級部 號線金トイナ 切一品属附種的集 號用実トイナ

度家鐵家建 取扱品目 取扱品目 を 類用金用金 種物具物物 種物具物物 何でも揃ふ店

其他荒物一 類類物式類

□出前迅速□

●特に領事結提出書類につき悪切

新草領事艙两隣電話四七七三番

他ス油油油油油

店理代

行

陸海軍鐵道省指定工

丸善礦油會社

に御相談に應じます



百金物物

北陸 釜

ち

授

と相手にしない。ほかの沛中に をふませ、戦む代六に、 しらないといふのがあ 語もいる

(H

て、確定げにニタリと等つた。

理

屋一局に随く口止めなしてあつた。 展一局に随く口止めなしてあった。 繋

ふたゝび、尺人をふきならしなが

簡がわるかつた。

音に、物こそいはね、確をあはせ

見物は、こんな狂言なのだらう

どうだい、あの虚無情、なか

と、ありがた際にくれながらたこと、と、ありがた際にくれながらたい。

セメントと石灰の着色麺を以つて推奨出來る!!

起體不變色

代新 理京 店總 カベ塗料カセインの特價提供● 百

神を白黒させながら、足もとに 方つた大吉の磁無僧を、見上げる と、――太吉の織い目が、ぢいつ

心の中にさらいまと 教授 月火日 間水木、

ー半一 日月 日月 一条券券料

(容器一桂里、 五封度職人

正午より午後四時まで() 正午より午後四時まで() (開日教授) 二、00圓

至午後六時

日曜祭日

午後休診



刑事 民事 訴訟 訴訟

元札幌地方裁判所構內 司法代書 代害業八卷清泰

感じのいゝこの家で皆様の御來遊を御待申騰い庭闕、靜かな離れ、家にや小座敷、大

御出の

節

AND THE REPORT OF THE PROPERTY OF THE PROPERTY

接物切切罐械

会商決大社会武職 號日愛店 商 氷日

修施製設 理工作計

道

合性城局

設計施工

衛



新京の草分 食道樂

但教教

し日曜祭日 新 擔任

診口歯 療腔 問科科鄉 BJ ニナ 具他お好み **微**話三二九六番 七八五五

5 こ料 理 壽しの外に-會席部を設けました!! 般御料理 仕出とも







電話三四六六番 樂道食



四

! 御氣持よき御座數

新築

日用難貨和洋菓子 は 是

●御婦

原野へ 一部では是非 第一の特合 第一の特合 第一の特合 ・直に配達致します

西三道街五

Ŧi.

品質第一新鮮牛乳

新しい品質第一主義の 多年經驗ある欧路の精密な 監督に供り最も安心して飲める牛乳多年経験ある、獣圏の精密なる した!!

電影ニー匹七番人船町四丁目廿九ノニ

辯護士 田 勇 法律 務

後床才竹二郎氏は左の如く語(東京國通)後藤農和と會見

を聴き更に自分に通信大臣 の椅子をあてぶつた理由を の椅子をあてぶつた理由を の椅子をあてがった理由を 話の内容

湖門開に就ては決定的の と曾見して意見の交が何れ鈴不總裁と聞いて、其後で自分と鈴とが曾ふ事になつてとが曾ふ事になつて

新京倉庫現品係主任 新京倉庫現品係主任 中男 事務員 大保 時男

滿鐵辭令

全くの虚様

長の辭任

商業學校正

干後休龄六八

E

曜。祭日

Deである の入れ替があるか否かは未

滿

國辭令

(東京國通)河田翰長は組閣の現狀につき左の如く語る後藤氏の床実氏訪問は鈴木總裁からの話の返答を聽くためだつたが先方は諾否を置さない、鈴木總裁との會置はない、鈴木總裁との會見延期は政友會からの入閣

昨夜十時からで大評定 【東京図通】鈴木總裁は組閣

上承認を得るであらう 薬本部で幹部會を開き詳細報告十時より

図道局第一技術處動務を命ず任國通局技正(厲任七等) 任國通局技正(厲任七等)

時診

間療

往宅

診診

但》急患い此限リニアラズ午後二時ョリ

午前十時十一年後二時三

殿西

【大連國通】 消鐵々 道部長羽田公司氏は今春來鬼角健康縣 正式に辭義を有して居たが、過般正副總裁の上京直前 正式に辭義を提出した、正副 總裁歸任後退任實現するものと觀られて居るが、部長の人と関られて居るが、部長の人

留渾 回送船 江水 か

体制を重視

討匪軍保護流下 (2

【奉天國通】東部東邊道方面 物資の輸送は例年準江の解氷 を待つて鴨綠江を經由安東に 輸送するものであるが本年は 沿岸に匪賊の横行基だしく 事を恐れ輸送を中止したため に現在渾江江畔には約七百の 回漕船が待機繁留されて居る 有様なので東邊道掃匪軍では 五日之を一簿に保護流下せし めたが此の時宜に適した掃匪 取の行為に財し當地一般農民

酷暑の爲 南京地方

ならう、遺憾ながら彼等に足 りないのは氣力と世情に對す 種營在支 滿

告!!

大山木廠家具部

切叮嚀に廉價を主義として皆様の御

大同大街三中井百貨店敷地前

急

設置して優秀なる技術者を以つて親 家具需要激増の折當木廠に家具部を 電話三一1一番

用命に應じます

0 水发機 廣 道房械 告 **逾** 陶 用 材 工 0 御 品料 命 斯京日本橋通六〇 11 東 電話三三〇〇

無話三二五七巻

行

4 醫學士 朝日通り二一(とどろき前) 山源 番 ^ 0

熟意に 會結局

この關係は、最後的解決に到達せず、結局1年後三時からの岡田、鈴木雨者の會見で 其他の會合によつて再考す 熱意に動かされたものである七日に約した事は岡田大將の る結構 月雨氏の入園を期待して居る只望月氏固縮の塩薫に臨む方針を持續し、政府側からは依然とし 既定方針 解兩者けふ再會見

回辭の場合には、他依然として床次、望を決定した上、兵政を決定した上、兵政

も早朝よっ

裁の側近者等 犬養健氏 方鈴木總裁

分拓務省に赴いて

(東京関通) 六日午後三時から 政友會と新内閣との關係は、最 政友側は改めて長老會護、其他 となつた、鈴木總裁が再會を七 となった、鈴木總裁が再會を七

会本 本日は昨日御來訪の件である である である で多つた文第である である である である である である である 意見をまとめられ

はないといふ點を御める從つて黨員入閣的問題と入閣問題と

自分は軍人で各般の政

政策は如何なるものか承知を対策は関係ない、それについて第一におたづねしたいことは我黨は國家本位、政策とは我黨は國家本位、政策とは我黨は國家本位、政策

命木 政黨の協力をもとめる といひながら虞に擧國一致

た、併し今まで定めたことれのため全く不行国であつれのため全く不行国であつぬではないか

若槻氏とは

民政黨総裁との會見を六日中政友會總裁と會見の結果若槻

一般邸に派し七日に延期され ・後五時十分橋本農相秘書を 會見の豫定

定するやうにいはれてゐるが、として拓相は首相兼攝とし內関

組閣本部はこの 説を否定してゐる

政黨には四席以

上譲らぬ

閣組

として拓相は首相兼攝とし内閣が出來たならなるべく早く拓務省を廢止に內暫定的の行政機構たる三位一体制を整へる意 見が一致し たので、その第一步(東京國通) 一説によれば岡田首相は林陸相留任の際對滿政策 を十分 協議し

林陸相留任の際協議ずみ

廢止されん

を拒

る、倚望月主介氏は突如午後 一時半組閣本部たる官邸に、 同田大將を訪問し、約州分會 同田大將との會見は自分の 事に關してではない、自分 の事に関してではない、自分 ら何人か推 に騙しての話はもう済

十分にして辭去したが、この計問した即月主介氏は會談四計問した即月主介氏は會談四

政友内の何人かを推薦するも

月氏は再考の餘地なした

雅定で、其結果如何なる展開 るが、六日午后には岡田大將 と鈴木総義の會見が行はれる と鈴木に職の計態にあ

て岡田首相は飽迄

二介氏に斡旋方を依頼のために岡田首相が

し何とか

望月圭介氏は岡田

緊張を見

の的となって

鈴木總裁邸に赴いた

大臣

臣

拓相は首相兼攝か

呼んだ覺

にはな

なが河田拓務大官は八時三十 政友態度に闘する秘策を練つ のでは、野歌のでは、野歌のでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、 七日午前零時現在

至るも劇賞せず右四席を政民 ・ 本は外は如何なる事態に立ち ・ は以外は如何なる事態に立ち ・ なる。 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 ・ で

これが岡田内閣の對政黨方針 に振賞てんとするもので 仏浦總長を

心閣方針

文務官制度も理である 電分存置 べく暫く現状通りとする模様 である 論、實際兩方面より議論の餘

伝れば、酷暑のため過去半月 に於げる死者三百名に達し、 今週既に五十八名の死者を出 比の悲惨な行列は南京市中間 を作つて雨乞ひをしつゝある 物は枯死し米價は暴闘した、に宜る旱天と酷暑のため農作に宜る旱天と酷暑のため農作 死者三百名

白露囚人 大赦令で釋放

(ハルピン関通) 大赦令により白系電人囚人三十名縁放され一味は前非を悔ひ恩赦に感泣して出獄した

演習から誤傳 不穏説を お互の

心掛水第でどうにでも

とに闘者する、

(-)

+

七

世, 同四十五年

百

松浦文相畧歷

田大將は六日の作職を胸に東京國通】組閣第三日の

作職を胸に秘細閣第三日の岡

テルを出で=時組閣本地に至めて午前八時五十五分萬平本

眞信(新姓)

夫 (轉進)

午後七時岡田首相は本部で東京園通)組閣の三日目六

ことも全然考へてお務を首相乗振でや

承認のサ國回答

聯盟事務局

首

相組閣本部

接受を公表 「ジュネーダデー酸図通」図 「ジュネーダデー酸図通」図 際際盟事務局は過程中米サル だドル共和國に動し同國の満 にいずる照會を設し たが聯盟事務局は五日サルバ

生 郎 (強症)

郎

だ話はない。

佛上院を通過せる

新建艦案內容

造案を可決した

一、一等潜水艦一隻 一、モガルドル級顯逐艦一隻 一、モガルドル級顕逐艦一隻

に降つた

受せる旨公表した

直

今日は何んの取獲もなかつ たが、無準備であつたのだ から組閣が永らくのは仕方 がない、山本條太郎氏に來 て貫つたのはいろいろ相談 したい爲だ、政友會との話 は未だ停頓狀態で七日鈴木 は未だ停頓狀態で七日鈴木 だ話はない。政友會が時策 を示せといつても政黨では ないから持合せはない。こ

分組閣本部をひきあげ同十分 七日にもちこされたので岡田 では早日に九時五 のでの回名が での回名が

組閣本部と鈴木總裁邸

可過

電話四 ハニハ香でき

決定的回答は與へなかつた 問題に は

後藤農相ミ會見後床次氏語

の私邸に長老等幹部の聯合協 対容を報告六日午後六時九段 時部に對し岡田首相との會見

タリー政府の三萬五千 順級職 隻の新艦艇建造に減是対ディ た時はツ湾軍の演習から誤作されたものだらうが赤軍の衛 第四十一 社債認可 回滿鐵

引建

荷造

運

搬 搬 搬

築 越

材

料

運

・関は六日認可された 機第四十一同新規配債四千萬 の場合である。 富豪韓家の開發を目的に設立 「吉林関通」 吉林省権 縣の 調查隊 大同殖產 夾皮溝金鑛へ

門專科児小

された大同殖産會社は昨年秋 第一回費地調査をなしたが、 第一回費地調査をなしたが、 第一回費地調査をなしたが、 更に再調査をなし趣術的に研 の趣端版を中心として河本大 付がむ損する警備班に護され 全員直六名、四日午後一時發 列軍で出設した、一行は磐石 に於て最後的準備を整へ七日 に於て最後的準備を整へ七日 これた大同産産會社は昨年秋 九月末引揚げの豫定である

任後實現か正副總裁歸

中島前商相 再び召喚

といふ意味でうれ といふ意味でうれ 朝鮮、釜山、大邱、木浦、群山、仁川、平護、鎮南浦、元山、湾津、雄基大店出張所及派出所。 東京、大阪、大阪南風、神戸、下開東京、大阪、大阪南風、神戸、下開東、鎮南浦、元山、湾津、雄基本、店、京城 · 朝鮮銀行新京支店世本銀行

目菜外那

(=)

百 通行制

収締に手を焼く關係當局

七 华 九和昭 で、地方事務所でも遂に か困難で例へば二頭立にかへて 地方事務所でも遂に か困難で例へば二頭立の馬も かるが、なほそれよりも荷馬 通つてもよいことになつてる 柄を後から後から集してから 成でありこれが取締はなかな り かるので、地方事務所でも遂に か困難で例へば二頭立の馬も を かるので、地方事務所でも遂に か困難で例へば二頭立の馬も を りがなるべく、目下 通行するといつた 横りかれて、何とか對策を講 市内に入れば一頭立にかへて するべく、目下

七 の外原を指定し、なほ内部はの外原を指定し、なほ内部はいてはさいに関心中である、荷馬車のりへ、専用道路として市街のりへ、専用道路として市街のりへ、専用道路の設定にづいてはさいに関心中である、荷馬車の外原を指定し、なほ内部は 一新京一根が取り およひ吉野町は絶對禁

れが取締方法

理状 一で、今のところは道路の損傷を防ぐため一部で制限するよりほかないといる。地方事務所では道路の損傷を防ぐため一部で制度するよりほかないといることに一決しいづれ近く順 警察署、市政公署、國 関との聯合會議を開いて

等客車の辨當

中薗は死刑

勝美は二年

控訴審判決言渡さる

の辨當立夏を試験的に本年一満鎌金線中魁けて三等客車内 月二十日から始めた新京鐵道 今後も賣る

海拉爾 觀象台業務を開始

京

に第一號法廷に於て藤崎裁判 ・ 関する控訴公判判決言渡しは ・ 大連國通】兄玉博士事件の ・ 大連國通】兄玉博士事件の

防止方を

土木工事の不正

左の如き判决言渡しがあつ

未决拘留百五十

神すく、ことに本年の政府の ・本すく、ことに本年の政府の ・本すく、ことに本年の政府の ・本すく、ことに本年の政府の ・本すく、ことに本年の政府の

檢察官立會の下に開廷さ

お達し

民政部から

本年の十一月上旬までには完 本年の十一月上旬までには完 二十二日海拉爾合長には糸永 一十二日海拉爾合長には糸永 一十二日海拉爾合長には糸永 上正雄投正の雨氏が任命され 上の他台員の任命もみたので はずること」なつてをりさる 本の他台員の任命もみたので はずること」なってをりさる。 ること、なり糸氷、井上の雨 一合長その他はこの程任地に向 候を左右する大陸の氣脈又は 一般の一般であるから今後 得るものと思はれてゐるの地方との連絡もよくとれ ることへなり糸氷、井上の雨事務所を設けて實務に着手す

湯尚子療養所へ轉療に出数 新京衛戌病院入院中の傷病兵 傷病兵四名 湯崗子 國都建設局、

曜

土)

(日)

百

関結の具体策につき種々協議 部陶村少佐、憲兵除特高科松 お職者の具体策り、これが大同

八運動の縮威

關東軍陶村少佐談

大日正午

| 12.15|| 常時國防の続後 婦人圏体幹部の協議)
| 12.15|| で、陽東軍及ひ在郷軍人會と 本精神の徹底を期し國家總勘 高、高質はヤマトホテルの雨 る (高質はヤマトホテルの雨)

一致をみた模様で、近く雨清

國防婦人會の使命は一般に

的とならないやう一丸とな 等に陽する限り相互に競争 ではない、ただ軍事扶助事

を選げたことは既報の通りで

その結果兩者の意見

婦人運動の権威であ

要のでは、大きのため三裸樹 等客車内でも賣ることになった。 で 変出線では水害のため三裸樹 等客車内でも賣ることになった。 所 大日午後零時五十六分現在未 だ復舊の見込み立たず當分の 気物第八百二十二上り列車が 作業中機関車に たったが復復を中止する の箇所に差しかへつた際郭家 で復鶴の見込み立たず當分の 大日午前十一時三十三分ごろ が 一様 中機関車に は 一様 中機関車に かって に ない は に ない かって に ない は は に ない かって に ない は に ない は に ない かって に ない は に は に ない は 並に特別市にこれが施行に當柄であり民政部では五日各省極に開始されんとしてゐる折 を期するやう訓令した 豪雨で不通 を取はづさんとしたが機闘事たが最後のツロリー事の事論ではづしたが最後のツロリー事の事論 事げたが、今後も尚村都して を車内の蝶窩立實りをやる、 では區間が短かつたのに鑑み。 では區間が短かつたのに鑑み。 等客車内でも賣ることになつ客が難到するので急行列車三 ○)がツロリー(作業店保線工區線路方喬京 内では**資**つてるなかつたが (作業事)を に觸れ即死した、そのために 停車し、死体は郭家店までモーターで送つた、なほ郭家店 察家兩្ともにッロリー使用 大路を北に満州國官衙、南に十四續くか、文化表徴の興安 を始め、

【ハルビン図通】ハルビン殼

再度匪襲を受く

二號列車

東部線九

秋新京で

全國旅館同業組合聯合會開催 宣傳のチャン

ことになつてゐる、地元の新京旅館業組合では新京における交通、旅館、文化施設における交通、旅館、文化施設その 始つて以来の大會で會場など も學校の大陽堂でも借用して

他を内地人に宣傳する絕好の 宣傳、連絡につとむべく今か ら準備にとりかゝつてゐる、 整當り八日(時刻未定)メイヤ を當り八日(時刻未定)メイヤ 九大勝

會の打合及ひ役割などをす 局川(帰)三氏、審判の下に確は「国球場で小野(珠)杉田、中は「八男子後四時五分から西公は六日午後四時五分から西公は六日午後四時五分から西公は一大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大大

既に新京

交通部、

ボ

2

のる、大會初日の十 を前に六百 一議題 相當額に上

正るものと各方面が 新京に落ちる金も

補回戦に入る

高水赤赤

0

4三振死 早大 岩原、阿部ー鵜飼、藤堂率天 田村、小島ー鈴木回バッテリ・

設立委員會を設置

兩婦人團体愈よ大同團結か

4938712 試合經過 5 勝

博克岡興安東警備軍司令部に 対緊蒙古人肚丁を徴兵すべく 計審準備中であつたが六月中 旬同司令部より保官出張、縣 公署の名を以て各地甲長に對

列し十一、一 裾蓋をなし、 抗水 州外都市對

率天体育協會主催の下に州外 都市對抗水泳競技大會を収る 二十二日午後一時から率天滿 一ルで開催される事となったが出場選手は各種競技(自由型、平泳、背泳、総泳) は一種目一都市二名宛で申込 は十五日まで 十二日奉天で

▲ 建入賞氏(新潟縣) 総町三 ・ 丁目十七番地/二間瀬方へ ・ 町一丁目三番地藤田方へ ・ 町一丁目三番地藤田方へ ・ 中村縫造氏(慶知縣) 平安 ・ 町一丁目三番地藤田方へ

▲ 顧田三雄氏 (栃木縣) 鐵樹 ・ 本 の山吹町二丁目興安寮二 ・ 十 八號へ 本村畿氏(岐阜縣) 語州か本村畿氏(岐阜縣) 語州か 林から富士町六丁目二番地▲熊倉新之助氏(栃木縣)吉

蒙古人の部落から 四十名を徴兵

同族の名譽だと部落民大喜び 左の如く語つてゐる 本以で一新したが、今蒙古民族を一新したが、今蒙古民族を以て一部建軍を親る事は 満洲國の爲にも最も有意義 であると思ふ、無教育の蒙 であると思ふ、無教育の蒙

板

並床板

及塗料

中央銀行、國道居・甲中央銀行、國道居・甲

金が難はれた、いや。○○近金が難はれた、いや。○○近

南新京支局便

ŋ

社を始め、大ぎから大ぎと目 に施される道路、上下水道の 大工事、中央銀行や、電々曾 大工事、中央銀行や、電々曾 き建設、故南新京だけ

n) 勿思りにでもあるかの様 はその匪賊などは、幾十年前

対た、築かれ

覚ましき建設、技術新産だけは、日本の内閣が暮らうと替れよりとされまいと、他の中れようとされまいと、他の中が不量額であらふとあるまい ・我不願えんの素晴らしさ

の、統帥大策源城、闕東軍司の、統帥大策源城、闕東軍司

きぬく大豆

廣場より西に何處、幾十、大建築揃ひの大同大街の、其他指を屈しきれぬ

今年の結氷期までには結構な

林から羽衣町三丁目四番地青田貞次郎氏(熊本縣)吉

から老松町二丁目十八番地

の支局長を仰せつかつた澤な を開き設置し老当生の私が其 を局を設置し老当生の私が其 を局を設置し老当生の私が其

の信念を確く持する私は関家愛に燃える 楽にたづさはる程

最大が、無元の帝王だの、社會 は承知しております、新聞記 は不知しております、新聞記

角が出現されませ 村 す 資格も無いし、関防の為に 関の意気にのみ焦々苦慮、轉 をの際に新京日日社の御命を はの際に新京日日社の御命を はの際に新京日日社の御命を は、包みされぬ程の報 統をとつて岩圏の低に屍を晒組団優さの時に第一線に立ち

期待にも副ひ、自らも其のは 清方の御庇護に依つて先輩の頂き、擴張にも努めそして薄 新京日日社が創刊以來長春村などもないことなのです。する迄もないことなのです。する迄もないことなのです。 命に携はつて聊か慰め度い 電業の野球試合第一回融合工 大連四時四十分より電楽の野球試合第一回融合工 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)三氏審判、立教の 大学(最)一度業の四回の裏に 大学(日) 「大連四回の裏に 大学(日) 「大連四回の裏に 大学(日) 「大連四回の裏に 「大連四回の国」 「大連回回の国」 「大連回回の国」 「大連四回の国」 「大連四回の国 「大連四回の国」 「大連四回の国 「大連四回の 「大画の 「大画 「大画の 「大画 「大画の 「大画 「大画の 「大画 「大画 「大画 「大画 「大画 「大画 「大画

街から羽衣町三丁目十七號 ○四平 ピンから老松町八番地へ

▲西山泰清氏(大阪府)ハル

務員に被害はな 関東貨車各一部 唇はない模様である ・一輪脱線したが乗 ・一輪脱線したが乗 ・一輪脱線したが乗

同夜は國都建設 雄爾氏は六日支店開設挨拶にちれた自動車國産部分品卸小費のヤマト商會新京支店支店を店中村昌大郷氏同店員中山定長中村昌大郷氏同店員中山定



自動車修理工場

番地富士屋

二十三番地金子方へ

ンスポ

住 消 息

兩兩盆盆

印燈提

の模擬店に

を町三丁目十八番地森谷方 水町二町目二百六十六號へ 水町二町目二百六十六號へ 大町二町目二百六十六號へ 大町二町目二百六十六號へ

外科、性病科皮膚科、泌尿科 ●診療時間● 同仁 常士町三丁目 一醫院

上場を譲る

名

日曜祭日午前中自午前九時至午後五時

小野田セメ 電 7 7 2 材料安價取引間屋持意三百件餘附通便あり大至急來談あり度し通便あり大至急來談あり度し通便を受價にて譲る、家賃格安へ二突然の躑國につき目下盛業中のワイ 械 ス 土 生 水 I. 材 陶 用 器 具 在

から吉野町一丁目三番地高から吉野町一丁目三番地高 天から薬菜町一丁目十番地 から東一條通り五番地八卷佐縣鎮雄氏(新潟縣)大連 同上へ 同上へ 夏物 七月七日より 御贈答用品として自信ある品を 中 元

一賣出

對大連實業

富士室自動車修理工場へ

1A 0.

十二日まで

豐富に取揃へて居ります 受けて重實 商品券の御利用を!! 贈って便利

しまや 話 = Ξ

吳服店 玉

七月五日 ヨリ 二日 マ デ

額 賣 額 見 切

十六番地から永榮町二丁目二十六番地から永榮町二丁目二

中

十番地

正絹テョウ ゼット 明石上布男物 船紗名古屋帶 麻 陣 Ŀ 御 布 召 二十五圓五十錢 = + = M 十五圓〇〇錢 十八圓五十錢 十六圓五十錢 京 銀 同 同 同 同 通 額 二圓七十五錢 七圓五十錢 九圆二十五錢 一個〇〇銭 入圆二十 值 五錢

H

吳

店

電話二八九七番

時==午後六時

中央通西公園前

度し 資格安(二五圃)場所附屬地交 菜中のワインヤツ製造

新京日本橋通り七八番地 會社 株式 大信洋行新京支店 電話(三七〇八)番

2

ニガトセセ (2) ゲキマモモ ダハタノノビー

午後三、五〇 女際合唱 ピアノ シーリング 女際合唱 (ベルビンより)

十二圓九十二錢 ▼十圓羽衣町四丁目二十二吉田ソノ▼三十圓六十錢竊銭 ▼十圓羽衣町四丁目二十二吉田ソノ▼三十圓六十錢竊銭

五〇

〇 争曲 千 鳥 (ハルピンより) 琴 土田まちの 琴 土田まちの 長濱須壽子 尺八 柳谷 鳳山 風山 風山 風山

三人

新夕

車ク

でシ

乘」

0

平洋作

0

忠靈塔寄附者

四ドモのキスヤコグ

〇 ラヂオ風景 〇 ラヂオ風景

を受 女子一中生徒 女子一中生徒

まつてゐる男がある

アッペッパーの子供とのと半線體のダンサー

やつばり街の風は慕はしいと何もかも忘れ盡してゐる樣で

世界に於ける未園地として知 ちれてゐる中央アジアは最早 中お伽語の土地でなくなつ上 関ちソヴエートロシャ領内に はトルキシブ鐡道が近く完立 漸文他の支線も間通する見込 みで先づ從來の個人的農場口 を經ち大規模な農業を起し て急速なる近代化に向つて驀

生活の唱はあはれである 夏夜の雨

群は

はかない明日への幸福を希つ

あ、誰か彼に手をかしてやれたうち死にそうな男……… たらち死にそうな男………

0

から

誰か彼に手をかしてやれ

頓に近代化す

夏だ夏が來たと云ふ

素し暑い室の空気に 排はれやうとずる………等

移りゆく夏の空合を眺めたい

父母と共にほどよい番茶を吸

ゆるやかに洗れる風にふかれ

生活の唱

所がなければならぬ、本然の國民皆兵制に寄事げて義務履行に協力の重要性に鑑み一般地

を軍隻下士官 大正十、同係へ照會するがよい

異動が激し ため徹底せず

弱る

な號は穀物を はい

のこらずお渡しする積りで 大が取扱ひに五人の係員が す、新在留者の大部分は新 京に当住する目的でなく職 京に当住する目的でなく職 京に当住する目的でなく職 京に当住する目的でなく職 京に当住する目的でなく職 でを得る為の形式上の在留 のり昨年も多数の事故者を たもの等は全く交付不能と たもの等は全く交付不能と たもの等は全く交付不能と たものではないかと憂惧に堪 では かれくるジャズは 体り注ぐ雨に 体々と くひいる夏の夜の雨 のも痛し

憂

因に本年簡関點呼該當年次は 一個であるから合脈を受 の如くであるから合脈を受 の加くであるから合脈を受 の加くであるから合脈を受 おもふさま酒を呑んで 格館の豚か……… そんな日もあつていいと思ふ 大嵐よ吹け雨もよし 心境その日ノ に望みもうすく

鰻スツ

朝旦迎日本橋畔衆とどろき 料燒理

同 同

会状変付の成績が不良であったことは誠に中澤がありません、しかし本年は令状変付の際在留状況の調査も 量ねて實施致しましたので からからないがありまするが向後あ ちゆる手段をつくして一人

和二、五、八年徴集のもの昭和二、四、六年徴集のもの昭和二、四、六年徴集のもの昭和二、四、六年徴集のもの

愛揮ともなるかも知れない 人間が持つて生れた獣性への

の昭の

のアクビして 朝の空氣を吸ひせいいつばい 平常、多分な睡眠に

しづかに思ふ時がある

美味しくて安い食堂町四丁目

村少佐虐殺

眞相

藝談 小柳桃昔小桂小柳 せ家太々文 さ家 ん 郎亭治 ん

韓羅佐藤鐵太郎 中聯佐藤鐵太郎

义(記述元明)を論る

世界に誇るべ 野の大面目は全篇に躍動 少佐がはじめてだ。全篇に強一心水

●代診生並に 隨 痔疾科 小兒科

7 七七

・親切町寧は三十名の内地人運轉手が實際に タ ク語 九〇日

上屋 心の 理修

電話三〇九七番

富

ボテー設計製作及改造体電気接替修理一切 ウインド硝子入替ウインド硝子入替 內張各種張替 斯溶接修理

よく眠る法

・映畫界イの学代

行洋長

今夏流行親桐

豐富着荷陳 村岡吳服店

古世带道真數屋商店 御電話次第直子三参上電話三八四三番取次

入買品用不

內科皮膚科

祝町三自新京千不中前

±:)

なからうか。 召しとるにしては除

りに人数が多十ぎるとの意見でご

既に、さらいふ人もござりませら

御

5

0

ば家 れ庭

で

t 5

ろ

る

の行動をさぐる手幣を購べん場に

先生はお高殿に人朋夷を見た上

足臓と散之丞が語しながら歩い てゐると、いつの間にやつて來た

からぬ企てを持つてゐるのかも知

15

心の展示右動門が、ずつと放れて

を附けしとて何かあらん、日本は日本の思なれば、原肝かにて別なれば、原肝かにて別

まつた写上家の一時の中には用心

『二三人に既に関元へ問題し

後をつけてゐる、平石が門の要を

しと、大抵は今まで通りに時々催

度無情姿の歌之丞や疑川屋麓の

帝早くみつけたのは 吉兵衛でも

て岸田守衛とも知つてふる古兵衛

六角の同心帯数へ、時々用入し

るるのでいうい

王の大成か成乱するやり動みるら

て質を見られなかったので風影

奉ひにも、手ぬぐひで駆かむり

散之感はぐっと言葉に力を入れ

に入し側面輪に配いては如何なる

シ | 羊 |

ラ

"

各

各

東京。京橋

明

治

エ

7

7

各

"

各

「何ともお男ましき大戦でごさ

たの果して

けならば、近ごろもつて、奇怪金 平石前地を、吉気がは、更に流観する 類がつかぬらしい。 平が覧は、それには、一向に、

何にしてもあのやうな問題をこし人別帳であるかはしれませぬがっ 政府の節と見て、壁に見張ってるりではなく、原王論を唱へる者を 「或は仰せの通り出しとるつも 所司代から役局の者に命じた

同志の態彼に示しましたが、壁に

田圃道の追跡 GD 「維養もあのが弱数を一見いた」「維養もあのが弱数を一見いた」「維養もあのが弱数を一見いた」「維養もあのが弱数を一見いた」「一四八 村岡殿の名さへ、見りけ申しまし けい人獣を、召とるつもりなのでよりの、さし脚をうけて、あれだ 所司代では、江戸表 を店をみつけると、 部店をみつけると、 部権を買ふや で行った。 てしまふと、質つた草壁を腰に

はながら歩いてあたっながらとして贈しながら歩いてあたっ

質所はかへつてい

所司代側にて、尊王論を唱ふる者」らへおくのは物脈子真なる次割。

本店 新京三等町一丁目 東洋拓殖株式會可變更支店 一、第二十九回可債總額,內一部償還三供り昭和九年六月一日 一、第二十九回可債總額,內一部償還三供り昭和九年六 一、第二十九回可債總額,內一部價還三供り昭和九年六 「一部價」上供り昭和九年六 一、第二十九回可債總額,內一部價」上,內國工債總額,內一日其計價總額,內一日 第二十九回計價總額,內一部價」上,因此價。 第二十九回計價。 第三千國 元株ノ種類及株式數一元株ノ種類及株式數一元株二付排込ミタル株元年五月二十日 水式會社資本増加

七

ダ

ン

社

交

ン

シルヴエスタ原著・

玉

置

眞

新京東二條通五

店商木鈴 社会式株 錦本葉の味 幾用御書內宮

方 定價 一円卅錢 吉譯補 吉譯補 这 科 四 线 四 线 近 刊

一町保神區田神市京東 番八四五四四京東替辰

玉ヴィクター

眞 吉

深 補著

金一萬圓有限 森岡品太郎 金一萬圓有限 林 正 一金二千圓 有限 林 正 一金二千圓 有限 林 正 一 第州國黑龍江省齊々哈爾新 馬路二號 二 東和九年六月十日左ノ地 ニ 支店ヲ設置ス

巨 科 ンスの

にれ一册 あれば 辭

戻つてダンスフアン必携の寳典であ 方組み合せを解説して研究に便なら

もので、 版に至るまで毎年絕大なる

原著に就いて我が社交ダ本書はシルヴェスタ教授 **懇切なる譯補を加へられた** 地指導の體驗を基礎とし 初版以來この四訂

ゆるダンスのフィガと踊 特に快い印刷と装幀と相 店にてお求めあれり スワルツ等八種の新ダ本書には特に뤛新のブ 以て迎へらる」

解社交グ

ン

スの顕

吉著

·好評。

シルヴエスタ原著・

玉置

眞

ュ



臣

(新)

をもつて黨員を岡田内閣にズー東京國通)政友會では黨議

関反對派と抗爭する標標で幹來るだけ黨内にといまつて入

とるものとみる向が4

床次支持派

决議文手交

・加くである故芸館の特殊、 通常又は小包郵便物を差出した者は至急新京郵便局へ申出

を訪問左の決議と一大郎氏等

(新)

(新)

関せしめざる事におり 風世しめること」なつたので 関せしめること」なったので

床次派會合

除名せば百七、八十名に上ると

幹部派を脅か

す

(新)

(新)

(新)

をまつて断然たる處置に出って入開する場合はその決定して入開する場合はその決定

本事に會合木下氏を座長に推 三十余名は七日午前日比谷陶 三十余名は七日午前日比谷陶

(兼)

によつて多数の同志を得っ をまつて断然たる處置に出 をまつて断然たる處置に出

致の精神

(留) (留)

水次氏等を除名か

まで學図一致非常時局に處すなるであらうと稱してゐる とも百七 知きことあら は少くとも百七 知きことあら は少くとも百七 なるであらる

ボスさんが、件食大臣で甘

機能の電三三つの塔

臣

日午前十一時三十分舉行され

臣

(轉)

(新)

(留)

政友の分裂は必至の形勢で

(新)

てゐるので、

愈々床次系脱黨となれば、

總裁派は目下極力黨員の

長老中、

望月、

山本・條)前田、三土氏等は床次氏の立場に同情

動搖を來すべて、

最早や

自重を勧告して

ゐる

(東京國通至急報)

岡田新内閣の親任式は八

3

J

さに確定

のて床次系の氣勢遽かに擧り、組政友は床次氏以下三名と决定し、

これに 對し黨幹 部は床次氏の自重と脫黨組の翻意に努めつつあ氣勢遽かに擧り、組閣と共に床次系は 一齊 に政友會を脫黨する以下三名と决定し、政友の分裂を覺悟の上で床次系 を 引拔いた

(東京國通)岡田大將が床次氏の要求を容れ政黨よりの入閣者を民 政二名、

幹部中

にも動搖の

色漸次濃厚

五日午前九時五

十分迄の

航空郵便物

四日午前九時五十分か

5

(-)

一時間十分に亘り双方の喰ひを来してゐる三候補者中の一人たる秋田清氏は遂に床次氏は膨少して内田氏を入れた大田県、邇信床次、鏡道内田、

を入れた に に は 深に 床

費用の調達に、

明十

を辟明する

ざることを靡明すると共に我黨獨立の見地に於て國運の進展に貢獻これを輕視し、其の組織の方針に於てこれをあやまる。即ち我黨はつべきは言を俟たず、而るに岡田大將の組織せんとする内閣は其組

精神に於て

岡田内閣と

等で何れにせよ新内閣の成立 により旬日の中には見極めが つくものと觀られる、信辭意 固しと傳へられる羽田織道部 長は公正の去就については、 特上理事の去就と関係あるも

事の留任質現せば、その慰留のと覗られてゐるが、村上理

かと関られてゐる

いやしくも國政の重賞を負はんとするものは國民の意思を代表する政黨の協力を俟國家内外の情勢は舉國一致を要求すること未だ曾つて今日より急なることはなし、

鈴木政友會總裁は七日午前十一時半岡田内閣に関係を送らざ

る理由に就

(東京國通)床衣竹二郎氏の を吐露してゐる向もある (東京國通)床衣竹二郎氏の を吐露してゐる向もある には鴬代表として入閣は拒絶 には鴬代表として入閣は拒絶

電である 電である 電である

れてゐる

新京鐵道事務所事務助手 扁木 新清

のたらひ廻し的な一つの争理事の椅子は中央方面各閥で出事の椅子は中央方面各閥のなく、

あつても、任期補

鈴木總栽聲明書發

閣僚を送らぬ

四苦八苦

清貧首相の

組閣振り

床次系脱黨に

取を出で租限本部に関田首山、内田氏等と打合せを軍者に對し午後六時頃より加者に對し午後六時頃より加東京國通一政友會よりの入東京國通一政友會よりの入

であると見られてゐる(寫眞右は秋田氏に諒解を求める爲右は秋田氏に諒解を求める爲

で」と云つて**ゐた岡田**東京國通』「どらも仓

田首相、

床次遞相折衝の結果

原内閣の内務大臣とし合閣本内閣の時鐵道院總裁とな

即方局長兼樺太長官を經て内出しに愛媛縣政稅長、内務省

田信

れ變更さる

田大將は宮中の御都合を何ひ八日朝参内閣員名簿を捧呈十

十分親任式舉行の運びに

2

田氏が入閣する迄

に組閣の大命が降下した、清 智な軍人、家内中の有金を寄 を集めて何と四百圓なにがし 石気な岡田提督、平氣で「これだけあればないよりましだ 美事彼岸に達せよう」と碇を あけたが乘出して見ると政友 の突風に飜弄され難航 足 代はピュックが貸與されてゐ るが萬平ホテルの室代十圓、

き左の如き蹬明書が

氏遂に譲

つたので

組閣は急轉直下的に進展

岡田大將が

目の七日夜に

至り漸

閣員の詮衡を終り

た終り岡

9

は、東京製通) 床次氏の入園間 大動緒を楽し、床次派・鈴木 製造にの (芝脱窯者を防止し続派は飽く芝脱窯者を防止し続級は飽く芝脱窯者を防止し続級は飽く芝脱窯者を防止し続いるが、 最少限度に見積つても床次氏 なまに行動する者は州名余あ

カなる根據は一、兩理事共在任中に活動資

政友會側より床次氏以下三名入閣すること、な

政友會の入閣拒絕により

一時組閣難に

クリームが一日ざつと三頁、が一日を通じ十五、六圓、暑が一日を通じ十五、六圓、暑

分けして組閣賞一千圓を駒

親類縁者が、

有が、これは大變と手一日二百圓の物入りだ

持合せてゐな

関の組閣準備に

ところだ に比べるとお話 に比べるとお話

未だ持合せ.

見で「政策は

行動を共に

する者

最少限卅余名

でも一日間前後、世間前後、世界の

つたが 東京國通

付款 名章 金数 発展 H新聞社

吉川商會

板材 採甲板

床次遞相 新任閣僚畧歷

新任選相床大竹二郎氏は人も新任選相床大竹二郎氏は人も 離間である腰鷹二年萬鹿兒島 離士床大正精氏の長男として 推士床大正精氏の長男として

松田文

本大學卒業後 局縣字佐郡柳ヶ瀬 高文試験並判検 調村に生れ、日 期治八年大分 脈が、現に民政

を組織し總裁となり犬蹇内閣は立と同時に鎌道大臣に親任同七年依顧寛官と共に特に前同七年依顧のた、趣味は野球

所出商事會社の社長、其他各官で突城縣第一區選出の代議 言商を卒業、三井物産に入り 大正七年退社獨立傭船業を營 本正七年退社獨立傭船業を營 本正七年退社獨立傭船業を營 本正七年退社獨立傭船業を營 本正七年退社獨立傭船業を營 本正七年退社獨立傭船業を營 本工七年退社獨立航船業を營

理から推されて代議士に書選 中ること前後九回、衆議員副 民政黨人りをして濱口内閣の 民政黨人りをして濱口内閣の 民政黨人りをして濱口内閣の 民政黨人りをして濱口内閣の 世 ときには拓務大臣に親任され 中四年に歐米親縣のため外遊 なつたこともある

日 官、文部大官等歴任、代職士 京 事官、文務省参事官、同書記 官、普通學務局長、圖書監査 官、普通學務局長、圖書記 で、普通學務局長、圖書記 で、首述學務局長、圖書記 で、首述學務局長、 山崎農相 官を經て農林大臣に親任せら

職別として大養内閣成立する に當選すること四回、政友會 に當選すること四回、政友會 や逓信大官に任じ 友會政務調査會長であるに批選すること四回、現に政

町田商相

と七回、その間最商務省参政に轉任、同銀行重役となる海 施から選ばれ代議士となるこ の銀行重役となる海

が高工大臣町田忠治氏は秋田 「東洋経済雑誌」を 「東京の「東京の中學を卒へ 「東京の「東京の中學を卒へ 「東京の「東京の中學を卒へ 「東洋経済雑誌」を 「東京の「東京の中學を卒へ 「東洋経済雑誌」を 「東京の「東京の中學を卒へ 「東洋経済雑誌」を 「東洋経済雑誌」を 「東洋経済雑誌」を

和京入舟町四丁

一一四七番

原及ひこれをめぐる中央各 恵及ひこれをめぐる中央各 恵及ひこれをめぐる中央各 恵及ひこれをめぐる中央各 で、これに對し退任説の有 等で、これに對し退任説の有 るること三回、報知新聞社長 となったこともある「財政學」 「憲法評論」等の著書がある

工場を安價にて譲る、家賃格安へ二五圓~場所以突然の呼閾につき目下區業中のワイシャツ製造 工場を譲る 家賃格安(二五圓)場所附屬地交

材料安價取引問屋持意三百件餘附通便あり大至急來談あり度し

在

京城で源送中焼失

差出人は局へ申出のこと

九 しずるところ、えらいといへ しに次さんが、伴食大臣で甘 とに次さんが、伴食大臣で甘 に、新京に於ける、鴻鎭機関 なほつとくものと見ねばなる の迷惑はこの上もない▼それ は、新京に於ける、鴻鎭機関 は、新京に於ける、鴻鎭機関 は、新京に於ける、鴻鎭機関

新京吉野町一丁目

電二一五 番

額枠各

種

洋畵

材料

富荷

を特望するものだ を特望するものだ

手喝采、全國民は教はれる事 ・いたまでと、別に不思議はない、▼底成政黨はこゝらで全

に同意しない 無籍問題が起つ 支持する特に同意あく 厳等をなさず E) 29

との銀管から岡田内閣役助論 者たる床文氏を激撃する處あ つたが聯繫派は入閣熊憑拒絕 の業議に服せず積極的に剛出 の業議に服せず積極的に剛出

に関みが、結局落 ・ 多数 単の人し ・ 数友分裂の ・ の人し ・ の人し ・ の人し

動産、

不動產管理相談

民刑事訴訟事務

更に住宅 地區割變更の結果年内に 商店街は全部完了 に限 回の

地區割變更については現在地區割變更については現在地區割變更については現在 不明である

七年九

によって、まだ相當 は宅街は既報の地 は宅時は既報の地 年中には貸下げ

相當あり、結局第二回分としてならでは貸下出來ぬものが のまゝ容れられなかつたた は全部で八十口(住宅のみ) である、 中である 中である 中である に亘り學術研究夏季調習會を 教育講習會

父發狂の幼兒に

も同情金

會には文教部、市教育開催する事となつた、 サ 國感謝電

もたちますまいが三人の憐な お子様の旅費のたしになりと にてあげて下さい、これは朝 日通八一の時子さんと久代さ

安間さん去る

新京には十ケ年のお馴染

綿布賣込の功勞者

ルニ打、

准勝チ

金を御下賜遊ばされたに對し。金を御下賜遊ばされたに對しるを御所の為御内帑 は誤り)高部かのさんの宅を訪れ姓名を告げず三見にと五 づかつてるる 八島通六七加藤の日本は六日午後本紙の記事によ

サルバドル暴風罹災者救助畏くも皇帝陛下には最近の 和丁士源閣下より輝受し 新京のプ

高楽繁茂期を目前に東北革命 即 軍を組織し、ソ聯より軍資金 即 距城頭目はソ聯の援助は難し いと見透しをつけ参加する者

- 馬三時時頃突如 野人部落 (戶數百)

加へられ、右部落は全域の急襲を与け、掠奪、暴行

智能犯が漸

入電あつた、尙急報

國際列車に

日

をいつたわけであります。
暫く大連の方で休養させて

布を完全に一掃して三萬の末ごろには北溝地方とのが今日では外國のたものが今日では外國の大ものが今日では外國の大きのが今日では外國の東ごろには北溝地方

であります、後

ボーそれは 日本綿布

日

査せる資料も相當の量に達し鋭意國内事情の紹介に努め調

上編の内容

日州で駿行した、右滿洲事情 業諸事情を詳述せる「満州事で居るが、今回更に満州國産 に宮内府に至され七日午前上尙右感謝電は外交部より直ち

八年施行に係る郵政貯金條例 を援用し、大同二年五月業務 を援用し、大同二年五月業務 前年末現在統計發表さる 金である、因に郵便貯金預けひ、更に一段の増額を期待しひ、更に一段の増額を期待しか、更に一段の増額を期待し 館犯が日々増加しつゝあるの有價證券偽造詐欺積領等の智 犯罪統計左の如くであるが、新京警察署に於ける六月中の

代都市としての發展途上

兩節婦の表彰式

北滿各河川

精質 美元 11至 1美

00 =

歌合唱、先生方のA 演出などで賑やかに

に樂しく星

王德林、

笛

米の風俗學者

口を極めて満人讚美

歸國したら紹介すると語る

居

たが、詳細尙不明である

場に急行し

北平、奉天間直通列車開通以一日本警乘兵廢止

贺展途上の

彩式を擧行する事となつた 前十時より同公署會觀望に於 いて石徐氏郷胡氏兩節絹の表

雨で拉林河は七センチ、は

聯と關係のあつ

照當王德

地方匪躍らず

幼稚園の七夕祭

割合左の如くである 人宣 件名

其日稿 の本州 他人人

十二月末現在預け人員一萬七百六十九人、預金額二十一萬六千九百余圓に達した、全國の郵局三百二十五局の內郵政貯金事務取扱局は僅かに七十一萬一局に過ぎない爲、今後地方

日本情緒タツ

物被品害

三四六〇二二三 に七夕祭の飾つけ、園見の唱で、今日はお母さんもご一緒で、今日はお母さんもご一緒

る関れあり、 豪雨の爲め自動

の目的は

に亘り人情風俗、習慣等の探 お中古都吉林の風物にあこが あるが、有名な親日家である 博士は往前の記者を迎へて左 の如く語つた

うとうからの愛讀者だよっ

調模面

新京日日か、僕はも

番地から城後路三百十二成喬六氏永樂町三丁目二

ス博士は過穀來滿、全禰各地ク」主幹ウイリアム、ブライ

つて居ります

は住所と御芳名を祀させて廻髪いカカアを引連れて、自らせ渡磯の挨拶をなしカカアに

學誌「ナショナル、グラヒツ

自由自在 ものを主

南新京支局便り

の大部分は昔の型が多い様 のは全く

自由自在の咽喉に熱狂的好評

鶴首する新京ファン

+

リーグ戦 体育ボー

ールリー**が**酸を事務所動のコ地方事務所では各係の体育ボースる九日から十九日まで新京

に心ゆくまで魅了されるものと當夜の感況は谦想されてる。 世界樂壇の裾見たる同様 あつたか 満洲國との因果關係 オ

場 日本の監々たる勢力に全世界 の 知る事が早道である、今日我 の で殊に音樂を通じて

百

新京地方事務所

ピッシイでに努めて

派洲人は人情風俗その他實 東洋平和のため喜んで居る 東洋平和のため喜んで居る ・ 吉林は満洲の古都古典の上に榮光あれと希つて居の上に榮光あれと希つて居が出る。 満洲人の風俗 習慣等 べき民族た日本が

相について全米に紹介、満 相について全米に紹介、満 州國の正しき認識に登した いと思つて居る あつた、瞬國したら吉林は いに得るところ

▲ 九尾毅氏 (平安町三丁目十一条地ノ三)女京子さん二十八日出生 十五番地ノ二)長男昭仁さん三十五番地ノ二)長男昭仁さん三十日川生 極田總一氏(大和通り六十五番地)三日午前五時四十一時五十五分死亡 一八原増一氏(入船町三丁目一番地)至日午前五時四十十五分死亡

直被をノーネキシャッ変で自 等から、中央通り以帯の管轄 、任朝四時からと、保晩六 要を振り向いて見ると、はじ あてゐたらしいやつが、覺え がか類に傳ふ何物かが見える 『何だ貴様は』と叱ると『い いえ揺れしいからです』とぬ とても早やいね、確かだね、 とても早やいね、確かだね、 とれから講讚しよう、等と賞

強致しますします。●

に就き之を関係別に見るとき更に又官公吏軍人の義務貯金 - 八人(百 %%%員分 三六金 - 八一事 %%%額 寫眞 観務總理訪問、訓練を受けた 新聞代表一行三十名は出鍵に先だち 新二回汎太平洋佛教育年大會出席前

する態像な者!

日学後四時新京着汽港設上り 第五十二列車は二時間十分延 ひ。午後六時十分到着した、 なほ新京設同級列車は通常過

交通線故障で

輸出入商

新京が建設されてゆくのか、

生来零に近い程、

北、周國何マイ ルかの人来客に近い程、散理に稼い

見込みは立たない

は左の如し

政貯金現在高

時日を製するとごは、 常に復する迄に元で と立はれて

は連日の降雨で吹水となり七京岡線二道河、柳福河南站間 京四線遲着

拉賓線又復不通 「ハルビン関通」北端連日の にハルビン関通」北端連日の な、平房、山家屯驛方面の路 を降雨のため、拉賓線拉林、安 は不通となつたが、當分得額の にいいビン関通」北端連日の

なやむ

かく腹恋たる雌大なものですされても肥糠しないが、とにされても肥糠しないが、とに

よ、などと柄にもなく、美辭法の特殊に幸あれ、榮えあれ、彼えあれ 麗句に似た様なものを、

シングルス 全英庭球男子 ペリー優勝

記念館の増改築費

寄

附を仰

〈ウィンブルドン六日發園通〉 イシングルス決勝最で英のペリーはストレートで濠洲のクロフオードを破つた、スコアロフオードを破つた、スコア ベリー(英)6-0ド(深)

きのふの協議會で大体决定

せしめ支那伽護路兵と共同、の爲め日本側は警察兵を便率 全を棚して来たが、開通第一列車並に人命財産の安全に萬 光野家の不幸

ので、明八日より已むを得ざめ、明八日より日むを得ざる状態になつため、 ので、明八日より日むを得ざる状態になった 便楽を停止する事となつたので、明八日より巳むを得ざ 曙町經王寺で執行されると 息暢旦君(一一)は助膜炎を 息物互君(一一)は助膜炎を 息場旦君(一一)は助膜炎を まび滿鏡臀院に入院中のとこ う七日午後二時逝去した、な は告別式は八日午後三時から お附 東洋棉花新京出場所 主任安間安五郎氏は大連へ轉 動することゝなり子息の在學 記念として室町小學校父兄會

南甸工

丁に匪襲

大会室で各関係部所の代表者二十一会を関り午後三時半解散したとして、 では出方法を協議の結果市民で、 でを持つ外に各方面からので、 を関り年後では、 を関り午後三時半解散したとして、 とを関り午後三時半解散したとして、 とを関り午後三時半解散となる。

朝鮮人部落全滅か

鮮人壯丁團 盤石で匪賊撃退

日本警官現場に急行

「古林殿領事館では近く右社 で古林總領事館では近く右社 で西林總領事館では近く右社 で西林總領事館では近く右社 消息

▲佐々木保之助氏(京郷縣) ▲鹽見金五郎氏(京都府) 本・三番地ノ四へ 十三番地ノ四へ 十三番地ノ四へ

機造製ム

小兒科 產

隨

新京日本橋通四五、四七 電話三一七一番

<u>尾婦人科擔任</u>

粗末なきサービス振り 常に好評を戴ひて居ります!!

稍而

三笠町二丁目 ▲キャピタル通り

△鐵 鋼、銅 眞 鍮 △建築土工用諸金物 鐵工具品一式

會社 合名 土建金物商會所支店

三ッ山印建築金物 トグ

本店

電話 長三〇〇七番 電話 四九五六番地 大連 榮町二番地

| *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | *** | **

**************** 目下實演賣出中 僅か五秒間の

クスイア

超速度で如何 凍ります なる飲料水も 新京日本橋通り

金泰洋行 電話三流

入院往診

日曜祭日午後休診

善生堂醫院

加賀田ヤエアの

時は常に日本の子供

の肉でで

揉み洗び

ッシ洗ひなど

様を現はすことになつてゐる

して二十世紀の尖端をゆ

月十五日まで三十八日間で 一一十八日まで三十八日間で

時には体がだるい休

等に用ひます

休について見童の心得

方へ左の心得を設表し

供の多

軽く異ふる

供達の伸ひ

西公園グランドに集つて致します、朝六時を期し

上で

御注意の

西廣場尋常小學校

盟の中に斜に入れまして洗ふ

物であるかを述べて

夏休中

お母さん

貫用品が喜ばれる 贈答品

ムジャガ芋の皮を剝い ひたし適宜に切つて心 を入れた湯へ入れて茹 ぶしておきます

野菜料理二

下手に贈るこ却て迷惑する

おいて直ぐ間に合ふと云ふ寶時の來客とかの場合、家庭に かが適當な品でありませう、合はせとか、飲み物の瓶詰と 之等のものは相當永い間とつ 四、砂糖、海苔、ビ風味でこの他乾物、 からで としての立派なお作法を心

共同浴場で

空中に見える現象である

青層の主張せ

と八月五日 午前六時

番簡単な食べ方は花々 買へるやらになりま

ルカン

とかがよろし 五、六年見童全部學校に集一、八月十五日午前八時、 始業)木曜日から第二學期二、八月十六日(午前八時 の始業準備に

立つた中へ投じ暫く茹でますごと深鍋に鹽を加へた湯の煮

る劇

ルの様なものもどこの

主婦の * E Ø.....

同一〇、五六、時でを製

(東京コリン (東京コリン (東京コリン)

八日(日曜)新京 放送プログラム

効果的な洗ひ 伊國の夏に京感話題 海の 大伽藍の 島にある羅 から

夏の洗濯

「樂(全日滿中繼) の産業統制に就て の産業統制に就て

夜の讃歌

していつた。 のみならず異菌は一 の破壊など承引いたす道理なく、 に結びし條約はこ 朱ては確門を日本の能々へ向けて 数之丞は、

移住同胞の一般事情 母の日が弾泉いたすことでござら の説けし我が興い何とし ら際古十

なかつた。 從って数之法の経 て居る手先きを さればならな

り、見速量に買って変

と有志の面々は意気込んで居る 言葉をかへ 一人で帰って住つこ のとして回路ったが歌は見えなか 数之丞は吉兵軍は 子道を曲つて足 背後に居るよ

供の時間でなった。

旣 を早めた 内の宿川を目指して 後を辿って行く。 総の方は見向きもせず。数之丞の 様をつけて民る選平右衛門は早 殿之丞は、ハ めに、脱れな 医た。

限にさへぎる、 に柳が植てあ 神流にれた野

□無するしみ、戦闘が登る人ひどく

腹痛、下痢、食慾不振の 胃腸カタルに の最も 大山

すみ

(前断)私は送代の十月、歌門に とても駆みよいお楽でございま 動き して病気も重らず快がに関ました。 野子がよく、既々の動脈と下側が、その後可服が聴く、氣味の動とはお食事が大へんおいしく頂けが、その後可服が聴く、氣味の動とはお食事が大へんおいしく頂けが、その後可服が聴く、氣味の動とはお食事が大へんおいしく頂けが、その後可服が聴く、気味の動とした。 ない こと はお食事が大へんおいしく頂けが、その後可服が聴く、気味の動とではお食事が大へんおいしく頂けが、その後可服が聴く、気味の動とではお食事が大へんおいしく頂けが、その後可服がある。 これを表した。 これをまた。 これを表した。 これをまた。 これをまた おちゃんが消化不良に確った時 おちゃんが消化不良に確った時 時用心しなければなりません。

れ、象別も悪かになりました 「能夠わかもと」の服用を抜ける れあせや腹鳴りが去り、無味を持ちますと、氣味 物から図々と普遍食に激して行く 現児ならお乳を、 切児ならお乳を、 切児なら 対別なら 対別なら 変 をく願いのですが、さればと云つ で大人の欄に下痢をかけると動々 できる一貫位懸食させるがよく、 できる一貫位懸食させるがよく、

ロまでの の説が「取成だといふ事が物り、 を本事的との関係は、初更から教 されるので、矢張りヴィタミンB の説が「取成だといふ事が物り、 また季節との関係は、初更から教 の記さい。 車が、ダイタミンBの映芝を一層 にす理由があるといふことが解り にす理由があるといふことが解り 高温に就ては實験上、冬町 三 周間でゲイタミンB級乏症料を 見する場でも、夏期には二週間 で同症狀を呈する。又測度に就 で田來た野菜と恋地 に出來た野菜と熟地 を実った。 器械新報節州四號所載) ではなる。 ではなる。 ではなる。 共に、其の日常食が甌氣の多いを興度が直接人體に作用するとを興度が直接人體に作用すると、原規に脚氣が多いのは、高温度にほど紛い。 温度や濕度の高い 本金身病であるからです。 一性、栄養學上の胃腸は、家で申せば付廃立間の如きもので 大人の消化不良ですと、大抵立 中の十三人学が一、二歳空の内にいるます。そして、其代が してゐます。そして、其死亡 十三人栄が一、二歳盛の内に 十三人栄が一、二歳盛の内に

一妻夜もたゝぬ内に鬼無に入つたってると、肝臓や暦まで犯されて、 高期が加はつた場合で、 田乳児より、牛乳キミルク育でします。そしてこの危険は一帯 うつかり

ボッチャン

散歩の

お供

安原・東京でい

ですからお聞さん方は、赤ちやですからお聞さん方は、赤乳後のが見には たい 赤乳後のが見には たなどをさせぬ機能に 受養素が、現物容易なだらできまい、スターの出来ないガイタミン、スター

田圃道の迫跡 dib 崇拜者。それかの四篇、今し我國の僧いたす。 森村氏は除りに異國の

それも其害で、

ミンBが生物中最も

傳染病流行

時せ、此の畸

より得れ時るとあれば、別域交通とかりでなく。外に高度ありて、しかりでなく。外に高度ありて、しかりでなく。外に高度ありて、しかりでなく。外に高度ありて、し から、その異例の文物間度 見続け、胃地をつらけていふの はに対上の町をも、瀬り満ぎ、右ず には後方に駆逐院の森が見ゆる邊 に来て居た。

然ろに幕府は朝廷のお浴るしをも 野党の家に近い東太町の個水左内の個水左内の 行所へと近消を取られにならな

関家の一大事なる原属と ば比応にてお別れいたすでござら 数之丞は居城の三條通りを何直 に印宅へ励って行 そうぶつ

がしろにする逆法にて冒無道的

英の解を高めて幕府を窮地に入れ 展版は去って在っ 離どうした窓でせらか――。 とか。何かの中海によるものであり、質し、質し、大きな、これが傳染病である

・ では、 がイタミンの研究が認んになるに ・ でいる。 ・ でい 初夏から秋口迄に多い理由も説明をか、歌凶、 無風盗よく判り 季節との関係など 一即ち続、頭な

米糖等を見へると恢復する。といイタミンBの失はれない女米や、 ヴィタミンB映画の為、人間の眺めていると、

でからが最も多く、が見っては未続を解析に近い食物、また。 な果然を解析に近い食物、また。 な果然を解析に近い食物、また。 な果然を解析に近い食物、また。 な果然を解析に近い食物、また。 な果然を解析に近い食物、また。 などん(臭座敷にまで侵入される。 などん(臭座敷にまで侵入される。 などん(臭座敷にまで侵入される。 などん) 利ですが、時に順吐や、観測を作 ます。 並な影脈は下

活破 にする作用ある野家に映

作用は電

消化不良は全身病

原因と症狀と家庭療法

綜合療法のす の新學説 を去り、 心臓や胃腸を强め、 > 浮腫

脚氣を輕快する新療法

秋口まで、脚気に悩む

多くの人・主波ではあるが、まだ他にも取る音・大変を表しています。

の課防醫學の理論を



